

# ブータン瓦版 ~ファッション編~

## Vol.2

### 民族衣装 SNAP in BHUTAN

クズザンポーラ！（ブータンの公用語であるゾンカ語で「こんにちは」）ブータンでは職場や学校などの公共の場では、民族衣装を着るよう定められています。若者は減ってきていますが、普段着でも着ている方は多いです。日本の着物と少し似ていて、とってもユニークで素敵な民族衣装を今回ご紹介させていただきます！！



女性の民族衣装は長方形の布を身体に巻いて、ケラという帯で締めて着付けます。長袖の上着はテゴと呼び、ウォンジュという薄手のブラウスと合わせて着用します。上の写真はキラを織っているところで、時間をかけて複雑な柄をシルクで刺繍しながら手織りしていきます。



#### お祭りスタイル

ブータンのお祭りツェチュは、毎年寺院や僧院で行われる一大イベントです。お祭りでは皆豪華な衣装に着替えて、色とりどりのダンスや余興を観にいきます。このダンスを観れば、恩恵を受けて罪を洗い流せると言われています。首都ティンプーのツェチュでは観光客も多く訪れ、人々のカラフルな衣装やユニークなダンスに魅了されます。



#### 親子ファッション

美人親子と一緒にオシャレをしてお祭りに行った時の写真。お母さんの方は職場の同僚でいつも華やか色のキラを着ています。娘さんが着用しているキラの生地はブラ（野蚕）といい、通常の絹は蚕を生きたまま茹でて糸を取りますが、殺生を嫌うブータンでは成虫になって飛び立った後の空の繭を紡いで糸にします。ごわごわしていますが独特の味があり、肌に馴染みます。



#### メンズビジネススタイル

男性の民族衣装はゴといい、和服に似た襟が付いています。着る時は膝丈に合わせて懐を大きくたくし上げ、帯でぎゅっと締めます。そこで出来たおはしよりには、ドラえもののポケットの様に財布や携帯電話などなんでも収納できます。一見スカートの様でもありませんね。



#### アパ(お父さん)ファッション

アパは普段も作業中でもゴを着こなしています。下にズボンを履いたり、帽子を合わせたり、上を脱いで袖を腰に巻くスタイルもオシャレ。日本の刀のように腰に刃物を提げている方が多く、その刃物で木や果物、肉など何でも切れます。





## お坊さんスタイル

ブータンは世界で唯一のチベット仏教国家で、ブータンに来たら可愛い小僧さんからベテランの老僧さんまで、お寺や街でもたくさんのお坊さんに会う事ができます。仏教学校があり、お寺へ行くと多くのお坊さんが英語で優しく案内してくれます。赤い袈裟に合わせて、靴下や帽子、バックなども販売しています。



## アマ(お母さん)コーデ

アマはキラに動きやすい洋服を合わせ、ピアスやネックレス、指輪などのアクセサリをふんだんに装着したコーデをよく見かけます。足下は脱ぎやすく濡れても大丈夫なサンダルが基本。赤ちゃんを幅のある手織りの帯で背負って動き回る力持ち。



## 制服スタイル

学校の制服も民族衣装。学校によって色や柄の指定が違います。小さい頃から着る事でブータンの伝統を守ります。地方などではまだ普及していない学校もありますが、体育の授業のみジャージに着替えます。ちょっとシャイで笑顔がとびきりかわいい子供たちばかりです。

## おまけ



登山に行った時の同僚のスタイル。帽子の代わりにこうして葉っぱを冠にして強い日差しから遮るのがローカルスタイルなんだとか。作りたては瑞々しい冠も、歩き疲れた同僚と比例して萎れていく冠がおかしくて、終始笑わせてくれました。



## レディースビジネススタイル

同僚のソナムさん(左)は美人でとってもオシャレさん。キラもいつも違うコーディネートでくるので私(右)はいつも参考にさせてもらったり、アドバイスを貰ったりします。職場で着るキラは綿素材が多く、キラの色に合わせてテゴとウォンジュを組み合わせます。ブータンの伝統やアイデンティティを守る為に着用を義務づけている民族衣装、いつまでも残っていてほしいと願います。